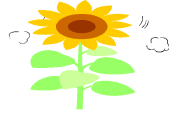


眉をあげて



校長室便り 座間市立西中学校
第6(23)号 校長 牧野 淳志
令和3年7月2日発行

ひまわり畑～種まき～



今年も西中伝統の『ひまわり畑』の種まきを行いました。6月25日(金)の準備と30日(水)の種まきには、福祉常任委員を中心に、なんと約80名ものボランティアの生徒が参加してくれました。昨年50名のボランティアで驚いたのですが、今年はさらに増え、うれしい悲鳴です。30日は、約1時間半で、種まき、鳩除けの設置がすべて終わりました。8月末には綺麗なひまわりがたくさん咲くことを楽しみにしています。畑を貸してくださり、除草剤の散布やアドバイスを下さる森川さん、種や肥料を提供してくださるひまわり保存会の澤田さん、看板設置をして下さる波多野さん、本当にありがとうございます。



ひまわり種まき

ボランティア



「ひまわりボランティア」もそうですが、西中生の「ボランティア意識」がとても高くなっているように感じます。「ボランティア」とは、もともと「志願者」「有志者」という意味を持つ言葉で、誰もが、自分でできることを自分の意志で周囲と協力しながら無償で行う活動のことをいいます。これからの私たちの社会の中で、この共助の精神はとても大切になってきます。被災地に駆けつけるような本格的なものでもなく、学校での、清掃ボランティアも立派なボランティアです。先生に頼まれたことをきっかけに始まったメダカボランティア(前号で紹介)や掲示物ボランティア(広報常任委員の___さんが職員室周辺の掲示物を管理してくれています。)、昨年行った、ペンキボランティアなど、これからも手伝いや参加をお願いするものもたくさんあると思います。座間市でもボランティアサマースクールの取り組みを実施しています。是非、少しの勇気と積極性を持ってチャレンジしてみてください。



掲示物ボランティア

聖火ランナー



新聞等でご存知の方もいると思いますが、2年生のチャンスリー(水留)龍海君が東京2020オリンピック聖火ランナーに選ばれ、6月29日(火)に聖火リレーを行いました。残念ながら公道を走ることはできませんでしたが、アテネ(ギリシャ)からつないできた聖火をトーチキスで次の人につなぎました。校長室でのインタビューでは、「やっぱり緊張しました。たくさんの人がつないできた聖火を東京までしっかり届ける役割を果たしたいと思いました。オリンピックが成功してほしいです。」と力強く話してくれました。



メダカボランティア



聖火ランナーチャンスリー(水留)龍海君